

# 平成26年度事業計画書

社会福祉法人こなんSSN

## I：事業方針

平成26年度は積年の願いであったこなんSSNの移転が、新築という形で実現し動き出す年となる。この新しい施設を有効に活用し、地域の精神保健福祉を推進していかなければならない。グループホーム・ケアホームは今年度から、グループホームとして一元化され、実体としてどのような変化があるのか不明な部分もあるが、これまでと変わらず安心出来る生活の拠点であるように、支援も充実させなければいけない。昨年度から法律の改正や新たな法整備もされている。「障害者の雇用の促進に関する法律の一部を改正する法律」では、障害者に対する差別に禁止及び合理的配慮の提供義務が明記され、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」も昨年度6月に交付された。このように障害者の社会生活にかかる権利保障が法的に進められている。そのような中、日常生活の支援に於いて、まずメンバーの権利を尊重し、ニーズに添った支援が提供出来るよう、事業所としても職員各自としても日々の支援を振り返り、資質の向上を目指す責務がある。

そして24年度に作成されたライフサポートミドルステージ5カ年プランは3年目を向かえる。その進捗を確認しつつ、今後の精神障害者の安定した支援体制のシステム作りを進めていく必要がある。

## II：事業内容

### 1. グループホーム・ケアホーム運営「Dear House」

<定員 9名 職員 7名>

- ・DearHouse 定員5名
- ・和(なごみ) 定員2名
- ・陽だまり 定員2名(女性)

<活動目標>

グループホーム・ケアホームでの生活を望む精神障害者に対し日常の援助等を行い、精神障害者が地域社会において自立した自由な生活が送れるようにすることを目標とする。

<活動内容>

- ①グループホーム・ケアホームの管理・運営を行う。
- ②グループホーム・ケアホーム利用者それぞれの必要に応じて自立生活に向けた援助相談をする。

◇日常生活の相談援助

(食事・服薬・金銭管理・健康管理・掃除・洗濯・余暇利用等)

◇社会生活の相談援助(対人関係・社会資源の利用等)

### 2. 就労継続支援B型運営「シエスタ」

<定員 20名 職員 8名>

<活動目標>

精神障害者を対象として、

- ①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせる沙龙的な場としての機能をあわせ持ち、広く社会参加をめざす。
- ②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助活動を行う。
- ③精神障害者・家族及び社会とのつながりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。

以上を目標とする。

<活動内容>

①作業

- ・部品組み立て軽作業・畑作業・印刷物下請け・食品袋詰め作業
- ・作業内容の充実を検討

②喫茶店「茶処ひびき」経営

- ・ランチ等の提供
- ・製造班による洋菓子の製造・販売班による菓子販売
- ・新メニュー開発
- ・イベント開催（趣味の会（随時）、秋祭り）
- ・PR活動等

③サロン活動

- 月1回：レク&食事会・昼食会・スポーツ
- 年1回：バス旅行・小グループ活動
- 随時：ドライブ・散歩・図書館利用・PC指導・ゲーム等メンバーそれぞれにあった活動

④自主活動

- ・小グループ活動
- ・趣味の会（ウォーキング等）

⑤生活支援

年金申請・生活保護申請など、各種手続きの支援

⑥就労支援

ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労等に向け支援

⑦啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年3回）
- ・地域連絡会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年4回）
- ・イベント開催

⑧障害者雇用

雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることが出来るよう支援する。

1名 週3日 9時30分～16時

製造をメインに行う。

### 3. 就労継続支援B型運営「こなんSSN」

<定員 20名 職員 7名>

<活動目標>

精神障害者を対象として、

- ①就労を中心とした社会復帰の関わりと、余暇の楽しみを見つけられる関わりを通して、生活の幅を広げ社会参加を進めていく。
- ②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助活動を行う。
- ③精神障害者・家族及び社会とのつながりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。

以上を目標とする。

<活動内容>

#### ①作業

- ・清掃作業や古紙回収など出向を中心とした施設外就労
- ・軽作業や家庭菜園
- ・自主製品プロジェクトチームによる自主製品開発（7月頃～試作）

#### ②サロン活動

隔月1回：レク&食事会・昼食会

月1回：スポーツ

年1回：バス旅行・小グループ活動

随時：無料・・・ドライブ、図書館利用、ゲーム等  
有料・・・買い物、カラオケ、昼食等

#### ③自主活動

- ・小グループ活動、クラブ活動（要望あれば）
- ・自主活動の活性化、レク内容の幅を広げるための働きかけを行う  
（サロン担当スタッフ配置の検討など）

#### ④生活支援

年金申請・生活保護申請など、各種手続きの支援  
メンバー対象の勉強会開催（年6回）

#### ⑤就労支援

ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで  
一般就労等に向け支援

#### ⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年3回）
- ・地域連絡会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年4回）
- ・イベント開催

### 4. 就労継続支援B型運営「凧日和」

<定員 20名 職員 7名>

<活動目標>

精神障害者を対象として、

- ①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせる沙龙的な場としての機能をあわせ持ち、広く社会参加をめざす。
- ②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助活動を行う。
- ③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。

以上を目標とする。

<活動内容>

①作業

- ・部品組み立て軽作業・市エコ活動参加
- ・施設外就労（大学清掃）<現在、見通し不明>
- ・新たな授産事業の展開を検討（大口の下請け作業を探す）

②サロン活動

隔月1回：レク&食事会

月1回：スポレク

年1回：バス旅行・小グループ活動

随時：ドライブ・スポーツ・散歩・図書館利用・PC指導・ゲーム・絵画・書道等メンバーそれぞれにあった活動

③自主活動

- ・小グループ活動
- ・サークル活動からセルフヘルプ的活動へ  
(ウォーキングサークル、手芸サークル等、また地域のボランティア団体との活動)

④生活支援

年金申請・生活保護申請など、各種手続きの支援

⑤就労支援

ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労等に向け支援

⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・地域連絡会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年4回）
- ・凧日和の活動を町内会回覧板で回覧
- ・イベント開催（自主勉強会、見学の企画など）
- ・地域行事への参加等を検討する

## 5. 高齢者デイサービスの運営「さくら並木」

<定員 10名 職員 5名>

<基本的理念>

「認めあう、支えあう、分かちあう」心を基本に、

- ・それぞれの個性を大切に、望んでいる過ごし方ができるように
- ・何気ない暮らしの中で楽しみ、喜びが見つけられるように
- ・家庭的な雰囲気の中で、あたたかい時間を過ごせるように支援していきます。

<活動目標>

通所による入浴、排泄、食事などの各種サービスを提供して、対象者の健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持、向上等を図ることを目的とする。また家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることもあわせて目標とする。

<活動内容>

- ①日常生活上の介護サービスの提供  
送迎、入浴、排泄、食事等の介助
- ②レクリエーション
  - ・季節に応じたレクリエーションの開催（花見、七夕等）
  - ・散歩、書道などの利用者の方が希望する活動の提供
- ③啓発活動
  - ・地域交流会開催（年1回）
  - ・家族交流会（年1回）
  - ・ボランティアの募集
  - ・ご家族、地域住民の方への「さくら並木」たよりの発行（不定期）
  - ・ご家族からの相談受付（随時）

## 6. 法人事業

- ・12月：シクラメン販売（メンバーボーナス）
- ・地域交流事業（共催：サポーターの会）
- ・たより作成（年4回）・配布（各関係機関、地元自治会等）、ホームページ管理
- ・精神保健福祉等に関する研修
- ・職員・メンバー研修

## 7. 県の精神保健福祉充実のため新たな社会資源作りに向けた事業

- ・地域生活支援体制の充実に向けて、法人の事業所（草津市・東近江市）に相談支援事業所の設置を検討する
- ・法人施設としての障害者雇用への対応と、利用者への新たな就労形態を管理者会議等で検討する。
- ・大津圏域での精神保健福祉サービスの提供を検討